

経営者のための

ソフトウェアリスクマネジメントの手引き



～リスク回避のために必要なソフトウェア資産管理とは?～

BSA | ザ・ソフトウェア・アライアンス
日本担当PR事務局 (MSLGROUP in Japan 内)
〒141-0021
東京都品川区上大崎 3-1-1 JR東急目黒ビル

WWW.BSA.OR.JP

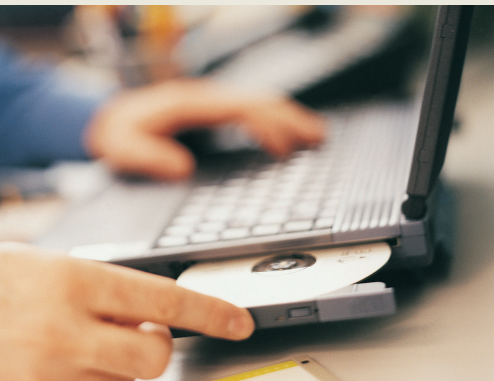
安心して信頼できるデジタル社会をめざして

Promoting a safe and legal digital world

ビジネス ソフトウェア アライアンス (BSA) は、世界 80 カ所以上の国や地域において、政策提言・教育啓発・権利保護支援などを通じ、ビジネスソフトウェア産業の継続的な成長とともに、安全で信頼できるデジタル社会の実現に貢献している非営利団体です。

経営者のためのソフトウェアリスクマネジメントの手引き

～リスク回避のために必要なソフトウェア資産管理とは？～



CONTENTS

- 1 はじめに
- 2 SAMの必要性
- 3 SAM未導入によるリスク
- 4 適切なSAMを実施するメリット
- 5 経営者に求められるアクション
- 6 恒常的なSAM運用までのステップ
- 7 BSAのSAM支援活動について

※ SAMとは Software Asset Management (ソフトウェア資産管理) の略です。

はじめに

企業を取り巻く経営環境がめまぐるしい変化を遂げる中、業務プロセスの自動化は今や必要不可欠なものとなりました。IT投資額と比例し増大の一途を辿る有形・無形のIT資産を如何に有効かつ適切に管理するかが今日の企業経営にとって重要な課題となっています。

しかしながら、国内のIT資産管理の現状は、内部統制やISO/IEC 20000などの国際標準化により、IT全般の運用管理への取り組みこそ盛んなものの、ライセンスや利用状況などの実態把握が難しいソフトウェアに関しては未だ管理が徹底しきれていないのが現状です。

一方、世界に目を向けるとソフトウェア管理領域ではISO/IEC 19770などの国際標準化の整備が急がれており、これを受けた欧米諸国ではIT資産のなかでもソフトウェア資産がもたらす経済的価値や企業経営への影響について注目が高まっています。

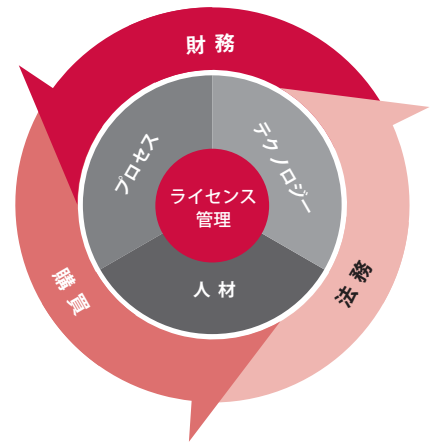
本手引きは、企業経営者の方に国際的な動きとなりつつあるソフトウェア資産管理の必要性と、ソフトウェア資産管理不在が引き起こすリスクとその対処方法をご理解頂き、適切なIT資産管理を実現して頂くことを目的としております。

本手引きが、今後の貴社の競争力強化の一助となれば幸いです。

ソフトウェア資産管理の必要性

— Software Asset Management —

SAM とは何か？



ソフトウェア資産管理 (SAM) のイメージ

ソフトウェア資産管理 (SAM) とは、ソフトウェア投資を最適化するためのプロセスと体制の構築・運用管理・改善を行うもので、単に組織内におけるソフトウェアの不正使用防止を目的としたライセンス管理手法を指すだけのものではありません。

いわゆる日本版SOX法で要求されている“資産の保全”という観点と同様に、SAMではソフトウェアを資産と捉え、そのソフトウェア資産を管理する「人材」「プロセス」「テクノロジー」を適切に運用するための体制構築を行うとともに、IT資産のライフサイクルはもちろん、関連する購買・法務・財務までを含めた総合的かつ全社的な管理体制の構築を意味しています。

いま、なぜ SAM が求められているのか？

ソフトウェア利用者である企業を取り巻く環境は、ここ数年で大きな変化を遂げています。なかでも最大の変化は、2006年5月にSAMがISO化されたことでしょう。ほかにも個人情報保護法や会社法に代表される新たな法制度の施行と、それらを補完するプライバシーマークやISMS (ISO/IEC 27000) の制定、さらに日本版SOX法で要求される内部統制を受けて制定が予定されているITSM (ISO/IEC 20000) 認証制度などが挙げられます。

以上のように、高まりつづけるコンプライアンス強化の要求を背景に、企業にはその違反を予防するための体制構築と的確な説明責任が求められているのです。

また、著作権に係るコンプライアンス違反のみならず、Winnyに代表されるいわゆるファイル共有ソフトを含む不正なソフトウェアの利用によるセキュリティ事故の抑止にもつながる対策であることも、SAMが注目を集めている要因のひとつです。

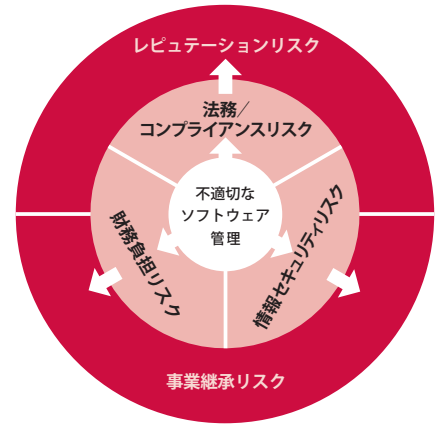
SAM を取り巻く法令

施行時期	法令	概要
2005年4月	個人情報保護法	個人情報の取り扱いに関する、規制・監視の強化
2006年4月	公益通報者保護法	企業の不祥事に対する通報体制の確立と内部告発者の保護
2006年5月	会社法	内部統制体制の構築義務
2007年7月	著作権法改正	著作権保護、著作権違反に関する罰則強化 個人：10年以下の懲役、1000万円以下の罰金（※併科可） 法人：3億円以下の罰金
2007年9月	日本版SOX法 (金融商品取引法)	上場企業ならびにそのグループ会社に対する内部統制体制確立の義務化 (内部統制報告書等の虚偽記載等につき罰則規定あり)

3

SAM 未導入によるリスク

SAM未導入、つまり適切なソフトウェア資産の管理ができていないということは、企業やその経営者は多くのリスクを抱えていることを意味します。種別的には不適切な管理が引き起こす「一次リスク」と、それが誘発する「二次リスク」に大別できます。以下に主要なリスクを例示します。



SAM 未導入によるリスクイメージ

一次リスク

法務／コンプライアンスリスク

組織内違法コピー（組織内におけるソフトウェアライセンスの不正使用）による著作権侵害が発覚した場合、企業はもちろん経営者個人への損害賠償が認定された判例も出ています。また、2007年7月1日に施行された改正著作権法では罰則が大幅に強化され、行為者は10年以下の懲役、または1000万円以下の罰金、またはその両方を科される可能性があり、企業は3億円以下の罰金を科される可能性があります。

情報セキュリティリスク

IDCの調査によると、違法ダウンロードや偽造CDを介して入手した違法コピーソフトウェアは、約50%の確率でITシステムに損害を与えたり、個人情報や企業の機密データの漏洩につながるウイルスやスパイウェア等の「追加コード」が含まれることが明らかになっています。また、当然ながら違法コピーはソフトウェアメーカーの正規サポートが得られないため、新たなセキュリティホールや不正アクセス対策に脆弱性を残すこととなります。

財務負担リスク

適切な管理がなされていない場合、予期していないライセンス追加購入の必要性に迫られるなど、キャッシュフロー悪化リスクが懸念されます。また無計画なソフトウェア購入を行えば購入コストが最適化されないばかりか、使用していないソフトウェアが増加する可能性も高くなり、結果として無駄な財務負担を強いることとなります。



二次リスク

レピュテーションリスク

近年、人材の流動化に起因する従業員のロイヤリティ低下や、個人の情報発信手段の多様化、また内部告発者を保護するための法整備が整うなど、企業内での不正行為が発覚する可能性は非常に高まっています。組織内違法コピーが発覚した場合、取引先や関連省庁、関連団体、消費者、従業員やその家族など、ステークホルダーの信頼失墜につながるばかりか、培ってきた企業のレピュテーションが多大な影響を受けることは避けられません。

事業継続リスク

管理不在が招くスパイウェアやウイルスの進入により工場やビジネス自体が停止に追い込まれる可能性も否定できません。また、ライセンス違反発覚時にはその対応のためビジネスの可用性が著しく低下するだけでなく、レピュテーションリスクに起因する取引停止や顧客離れがビジネスそのものの存続を危うくし、最悪の場合、事業の継続が困難な状況に陥ることも想定されます。

適切な SAM を実施するメリット

ソフトウェアのライセンスやライフサイクルの最適化を含め、SAM を適切に構築することにより、企業は多くのメリットを享受します。

メリット

リスクの軽減

前述のリスクの排除または大幅な軽減が可能です。

従業員の マインド向上

昨今のビジネスパーソンは年齢や経験に関係なく非常に高いコンプライアンス意識を持ち合わせています。企業が SAM に取り組む姿勢が、その意識の高い従業員の潜在的な不満解消につながるだけでなく、企業へのロイヤリティを醸成することに繋がり、結果として生産性向上に大きく寄与します。

コスト (TCO) 削減

すでに保有しているライセンスを把握することで、不必要な新規ライセンス購入が回避できるほか、ソフトウェアメーカーから組織の現状に見合った最適なライセンスプログラムの提案を受けることが可能になります。また単に利用者のニーズでライセンスを購入せず、全社的な見地からその必要性を見極めることができるようになり、余分なサポートコストなどの排除が行えます。

IT 資産の効率運用

システム、ユーザーおよびヘルプデスクのパフォーマンス向上や、バックアップとリカバリープランの策定が可能となります。

merit



経営者に求められるアクション

ソフトウェアの管理を怠るということは、IT資産の適切な管理が実現できていないばかりか、多くのリスクを内包したまま企業経営を行っているということにほかなりません。SAMの実現は、それらリスクの排除や軽減だけでなく財務的にも大きなメリットがあり、延いては競合他社に対する優位性確保につながります。

これを迅速かつ円滑に実施するためには、企業経営者を含むトップマネジメントのコミットメントが何よりも重要になります。BSAは、以下の3つのポイントが適切なSAM実現に欠かせない経営者のアクションであると考えています。



ACTION

1 経営トップの明確なコミットメント

SAMを円滑に進めるためには全社員の意識改革と協力が不可欠です。まずは経営トップが経営戦略の一環としてSAMを実施するという明確な意思を全社員に示すことが、SAM実現のための強力な推進力になります。

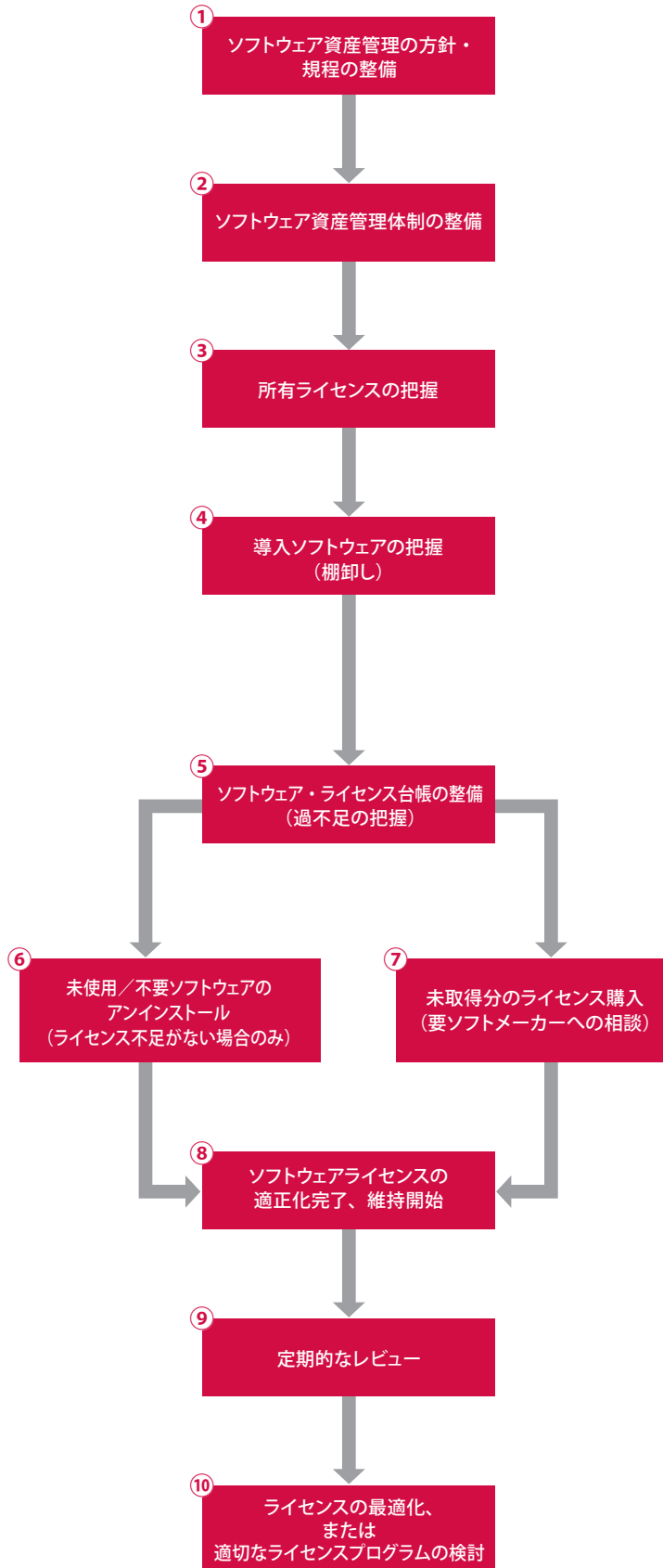
2 経営トップ直轄かつ部門横断的な組織発足

経営トップのコミットメントだけではSAMは実現できません。適切なSAMには管理体制の構築が肝要であり、それには多くの部門が関与することが求められます。SAMを迅速に実現するため、経営トップ直轄組織として部門横断的なSAMプロジェクトチームを発足させることが重要です。

3 経営トップによるボトムアップのための配慮

自社のソフトウェアとライセンスの現状把握なくしてSAMの実現はあり得ません。この作業には非常に多くの時間と労力が必要となるため、担当者のモチベーションが低下する可能性も否めません。これを回避するには、経営トップが現状把握報告を直接受けるなどプロジェクトへの継続した関与を示すことや担当者への配慮が重要となります。

恒常的な SAM 運用までのステップ



①ソフトウェア資産管理の方針・規程の整備

統制の取れた管理を行うために、ソフトウェア資産管理の方針・規程等を作成し順守させます。方針・規程等に基づいた管理が実施されないと、場当たりの管理となってしまう、適切な管理レベルを維持することが困難となります。

②ソフトウェア資産管理体制の整備

適切かつ効率的な管理を実施するために、管理体制、教育体制、監査体制を整備します。体制が整備されていないと責任の所在が曖昧となり、作業および報告がスムーズに行われず、適切な管理レベルの維持が困難となります。

③所有ライセンスの把握

組織の重要な資産として所有しているライセンスを把握・管理し、アカウントビリティを確保します。所有ライセンスの種類・数量が把握されていないと、所有しているソフトウェア資産の状況を把握できず、適切なソフトウェア資産の配分が困難となります。特にソフトウェア資産は目に見えない無形物であるため、所有状況を把握していないと購入したライセンスを有効活用できません。

④導入ソフトウェアの把握(棚卸し)

PCにインストールされたソフトウェアとその元となるライセンスが把握されていないと、ライセンスの利用状況が把握できず、適切なソフトウェア資産の配分が困難となります。ソフトウェアの使用は、原則としてライセンスの裏付けが必要となるため、当該状況の特定時点のものとして把握することが可能でなければなりません。

⑤ソフトウェアライセンス台帳の整備(過不足の把握)

ライセンスの利用状況が適切かどうかを把握するため、所有ライセンスと導入ソフトウェアを比較し、その過不足を管理できるソフトウェアライセンス台帳を作成します。

⑥未使用/不要ソフトウェアのアンインストール

(ライセンス不足がない場合のみ)

ライセンス不足が発生していないソフトウェアに限り、インストールしたまま使用していない、または不要なソフトウェアを削除(アンインストール)し、新たなPCにインストールするなど適切なソフトウェア資産の配分を行えます。

⑦未取得分のライセンス購入(要ソフトメーカーへの相談)

ソフトウェアライセンス台帳上で未取得分のライセンスが見つかった場合は、当該ソフトウェアメーカー(著作権者)にその対応につき相談したうえで、ライセンスの購入など必要な手続きを行ってください。

⑧ソフトウェアライセンスの適正化完了、維持開始

インストールされたソフトウェアと必要なライセンスの過不足がなくなれば、適正な状態です。この後は、この適正な状態を維持するような定期的な管理を行います。

⑨定期的なレビュー

最低でも一年に一度、出来れば四半期もしくは半期に一度の割合でレビューを行い、ソフトウェアライセンス台帳の更新を行ってください。

⑩ライセンスの最適化、または適切なライセンスプログラムの検討

定期的なレビュー後、必要に応じてライセンスを最適化します。また、自社の状態に合ったライセンスプログラムを提案してもらうよう、ソフトウェアメーカーに依頼することも有効です。

7

BSAのSAM支援活動について

SAM関連イベント/セミナーの主催（協賛）

- SAM World2008（特別協賛）
- ライセンスセミナー

SAM評価支援

- BSA評価プログラム

SAM関連講演依頼

- SAM関連の講師派遣

SAM関連情報提供

- BSAホームページ上での情報公開
- 大学向けソフトウェア管理支援ポータル開設
- 企業向けソフトウェア資産管理支援ポータル開設

SAM関連キャンペーンの実施

- 国立大学法人等支援プロジェクト
- 大学向けソフトウェア管理支援キャンペーン
- 企業向けソフトウェア資産管理構築支援
キャンペーン